

第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の進捗状況等

上位目標	人工透析の新規導入者の割合を平成28年度（14.9%）から減少させる。
中位目標	代謝リスク保有者の割合を平成27年度（15.0%）から減少させる。

目標区分	優先順位	評価項目	属性	2023（R05）年度	2018（H30）年度			2019（R01）年度				今後の対策等	
				最終目標	目標	実績 ※1	評価	目標	速報値 ※2	評価	主な取り組み		
健康診査	1	生活習慣病予防健診受診率	本人	67.8%	58.0%	61.0%	○	61.0%	63.0%	○	健診推進経費を最大限に活用した生活習慣病予防健診の受診勧奨強化	事業者健診から生活習慣病予防健診へのシフト	
	2	事業者健診結果データ取得率	本人	8.0%	6.2%	7.1%	○	6.6%	7.7%	○	外部委託による事業者健診結果データ取得の取り組み強化		
	3	特定健診受診率	家族	29.8%	25.0%	23.4%	×	25.9%	23.0%	×	オプション健診を取り入れた支部独自の集団健診の実施 ショッピングモール等での特定健診の実施		受診率低迷市町への積極的な事業展開
特定保健指導	4	特定保健指導実施率	本人家族	35.0%	19.0%	21.1%	○	21.3%	19.5%	△	定期的に各機関の進捗管理とフィードバック実施 委託機関との意見交換会を実施 特定保健指導を受託していない健診機関について、支部職員による訪問を実施（2019年度は1機関がこの活動により保健指導業務を受託することとなった）	※協会全体のKPI（16.8%）は達成したため△としている	・健診当日における初回面談実施拡大（被保険者、被扶養者ともに） ・健康宣言事業所に対しては、100%受け入れていただけるようにする。
重症化予防	5	未治療者の医療機関受診率	本人	15.0%	11.1%	11.8%	○	12.0%	12.0% ※3	○	支部及び委託による電話中心の勧奨を実施 要精密、要治療判定者に医療機関受診を促す啓発記事を支部HPに掲載する等による啓発活動の実施 他支部、健診機関での勧奨方法、使用媒体などの情報収集の強化	・他支部の頑張りもあり、「全国第2位から全国第5位へ」順位を落としている。これ以上急落させないための施策を考える。	
	7	糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者の参加率	本人	10%以上	参加者10名	参加者3名	△	参加者10名	参加者3名	△	佐賀県ストップ糖尿病対策会議等に出席し情報共有を図る 参加勧奨文書の見直し等を行い、勧奨文書を発送	※協会全体のKPIの設定がないため、実施しているという結果から△としている。	・佐賀県の動きと連動させる。 ・支部でも最低1名は実施する。
健康経営推進（コラボヘルス）	6	代謝リスク改善に取り組む事業所数		10社以上	面の拡大【100社以上】	141社	○	面の拡大と質の向上	【面の拡大】428社 【質の向上】宣言時における協会からのサポート保健師等訪問59社	○	支部内の体制を強化するため、企画総務グループと保健グループによる「健康宣言推進プロジェクト」を編成 ⇒ 2020年度に延期 被保険者50人以上の健康宣言事業所を中心に事業所カルテを配布 ⇒ 【被扶養者50名以上】の条件は撤廃 質の向上を目指すための支援方法、使用ツールの作成、人員配置等の検討を実施し、支部内体制の在り方を検討する。⇒ 2020年度に延期		

※1 実績 : 平成30年度事業報告書(協会けんぽ2018)より抜粋
 ※2 速報値 : 年度末(令和2(2020)年3月末日)までの支部内における集計値
 ※3 速報値 : 平成30(2018)年4月健診分～平成31(2019)年3月健診分データ